

これまでの区の実施と総合評価

(第3回基本構想審議会「資料3(抜粋)」)

政策名	政策目標	10年間の主な取組	政策の総合評価(政策の達成度等)
<p>子育てを社会で支え、子どもが健やかに育つために</p>	<p>子育てを地域や社会で支えるしくみづくり</p>	<p>子ども・子育て行動計画の策定・推進 (前期:17~21年度、後期:22~26年度)</p> <p>子育てを地域で支え合うまちづくりの推進(子育て応援券の導入、子育てサイト・子育てメッセ等の実施)</p>	<p>1 子育て家庭への各種支援サービスの提供により、親の不安感・負担感は減少してきたが、核家族化・地域のつながりの希薄化等が進む中で、要支援家庭や要保護児童を含む子育て家庭への総合的な支援が求められている。</p> <p>子育てを楽しんでいる人の割合 80%(H15年度) 78.3%(H22 目標:90%以上) [未達成]</p>
	<p>子どもがのびのびと健やかに育つ環境づくり</p>	<p>保育園入所待機児童対策(民間認可保育園・認証保育所・区保育室の開設等)</p> <p>幼保一体化の推進(区立幼稚園の区独自の幼保一体化施設「子供園」への段階的な転換)</p>	<p>2 保育園入所待機児童解消に向けた緊急対策により、待機児童数を大幅に減少させることができたが、今後の保育ニーズの増大等を踏まえ、保育サービス基盤の整備と幼保一体化の推進が課題となっている。</p> <p>保育園入所待機児童数 133人(H13年4月) 23人(H22年4月 目標:解消) [未達成]</p>
		<p>学童クラブ入会待機児童対策(第二学童クラブの開設等)</p>	<p>3 学童クラブ入会待機児童は解消できておらず、急増する保育ニーズの学齢期への移行等を視野に入れ、児童館の施設配置・サービスのあり方の見直しによる放課後対策と次世代育成支援の充実が求められている。</p> <p>学童クラブ入会待機児童数 49人(H13年4月) 20人(H22年4月 目標:解消) [未達成]</p>
		<p>保育園・子供園・幼稚園・学童クラブ等での障害児の受入・支援</p>	<p>4 就学前施設や学童クラブでの障害児の受入・支援は進んできたが、今後は、近年増え続けている発達障害児も含め、関係機関相互のさらなる連携強化や受入施設への専門的な支援が課題となっている。</p> <p>区立保育園・子供園・幼稚園での受入人数 55人(H13年4月) 94人(H22年4月)</p>

政策名	政策目標	10年間の主な取組	政策の総合評価（政策の達成度等）
魅力ある学校教育のために	<p>確かな学力、健やかな体、豊かな心と社会性を身につけることができる魅力ある学校づくり</p> <p>特色ある学校づくりのための力のある教師の育成</p> <p>学校の適正規模の確保と耐震性を備えた教育環境の整備</p>	<p>特色ある学校づくり ・学校司書の配置(H21年度) ・理科支援員の配置 ・「言葉の教育」教材の開発 など</p> <p>特別な支援を必要とする児童・生徒への対応 ・「特別支援教育推進計画」の策定(H20年度) ・情緒障害学級の開設(小学校4校、中学校2校) ・障害児介助員、介助ボランティア、学習支援教員の配置</p> <p>小中一貫教育の推進 ・モデル地区での試行(新泉・和泉地区、高円寺地区) ・区小中一貫教育基本方針の策定(H21年度)</p> <p>力のある教師の育成 ・杉並師範館の運営(H18～22年度) ・区独自教員の採用(H19～23年度)</p> <p>区立小中学校適正配置基本方針(H16年度策定、20年度改定) ・統合新校(天沼小)の開校(H20年度)</p> <p>耐震性向上のための校舎等の改築・改修</p>	<p>1 質の高い教育を目指し、各種の事業を進めた結果、特色ある学校づくりに取り組む学校が多数となるなど一定程度の成果が出てきており、今後、更なる取組を広める必要がある。 特色ある学校づくりに取り組む学校数 小学校29校 中学校12校</p> <p>2 学習支援教員の配置など、個々のニーズに応じた特別支援教育の対応を行い、学級経営の向上に努めたが、今後も増加が予測される発達障害のある児童・生徒への対応など、新たな課題への支援策に取り組む必要がある。 情緒障害学級入級待機児童・生徒数 33人(21年度末) H22目標:0人【未達成】</p> <p>3 モデル地区での試行を踏まえて小中一貫教育基本方針を策定し、各小中学校の実態に応じて児童・生徒の調和のとれた人間形成を図る取組を推進し、実施校の拡大を図った。</p> <p>4 区独自の教師養成(杉並師範館)を行い、区独自教員として採用し、30人程度学級の実施や少人数指導など、特色ある学校づくりの土台を築き、一定の目的を達成することができた(師範館は22年度で終了)。 区独自教員採用数 22年度末累計:120名予定</p> <p>5 区立小中学校の耐震化率は、23年度には100%を達成する見込みであり、安全な教育環境の整備に大きく貢献することができた。 区立学校の耐震化率 66.4%(15年度) 97%(22目標:92.9%)【達成】</p>
地域に開かれ、支えられた教育のために	<p>学校を核としたコミュニティ・ネットワークの確立</p> <p>地域に根ざした学校づくり</p>	<p>地域運営学校(コミュニティ・スクール)の指定</p> <p>地域との連携体制の構築を目指した学校支援本部の設置</p>	<p>1 学校支援本部、地域運営学校(コミュニティ・スクール)の導入により、保護者や地域住民の学校運営の参画が進み、地域との協働が着実に図られ、学校を核としたコミュニティ・ネットワークの仕組みが整いつつある。今後は、その仕組みをより有効に活かす取組が必要である。 地域運営学校の実施校数 14校 H22目標:15校【概ね達成】 学校支援本部の設置 実施校66校 H22目標:全小・中学校66校【達成】</p>
生涯学習の推進のために	<p>身近なところで読書・スポーツ・学習活動に親しめるまちづくり</p> <p>図書館機能の強化</p>	<p>地域スポーツ充実のための地域体育館改築</p> <p>より利便性を高めるための地域図書館開設</p> <p>子供読書活動推進計画(H15年度策定、18・22年度改定)</p>	<p>1 老築化した地域体育館の移転改築に向けて準備を進め、1館の設計を終了し、23年度から着工する予定である。今後、区民のスポーツ活動の多様化や地域におけるスポーツ活動の活発化に向けた総合的な取組が求められている。</p> <p>2 地域図書館の建設・整備を進め、区民の調べ学習や読書活動に資することができた(整備計画は残り1館となった)。</p> <p>3 「子供読書活動推進計画」の事業に取り組んだことにより、子どもの平均読書冊数を着実に伸ばすことができた。 1か月の平均読書冊数 小学校8.6冊(16年度) 9.3冊(21年度) 中学校5.0冊(16年度) 7.1冊(21年度)</p>

政策名	政策目標	10年間の主な取組	政策の総合評価（政策の達成度等）
<p>地域文化の創造のために</p>	<p>文化・芸術に親しめる環境整備と文化・芸術活動の支援</p> <p>文化・芸術に関する情報の収集・提供と文化・芸術活動に係る基盤整備</p> <p>郷土の伝統文化の保存・継承</p>	<p>杉並区文化協会発足（H18年度） すぎなみ文化芸術活動助成制度の開始（H18年度）</p> <p>杉並公会堂リニューアルオープン（H18年度） 杉並芸術会館（座・高円寺）オープン（H21年度）</p> <p>文化財保護ボランティア制度開始（H17年度） ・有形文化財・無形伝統芸能文化財の登録（138件。うち83件は指定文化財） 郷土博物館分館オープン（H19年度） ・「区民との協働と生涯学習支援に向けた博物館の新たな運営方針」を作成（H22年度）</p>	<p>1 杉並区文化協会の事業として、文化専門広報紙の発行や、ホームページの開設、また、すぎなみ文化芸術活動助成金助成によって、区民等の文化・芸術活動の新たな取組を進めることができた。 すぎなみ文化芸術活動助成 155件（18～22年度）</p> <p>2 杉並公会堂と杉並芸術会館（座・高円寺）のオープンにより、文化・芸術に親しめる環境整備を大きく進めた。両施設とも利用者数、稼働率共に高い水準となっている。これらの施設が地域と連携することにより、商店街等地域の活性化が進みつつあり、こうしたまちづくりをさらに進めることが求められている。 杉並公会堂ホール・スタジオ等の稼働率 82.6%（19年度） 84.1%（21年度） 杉並芸術会館（座・高円寺）芸術文化普及振興事業への参加者数 90,000人（21年度）（H22目標：43,000人）</p> <p>3 指定登録文化財は増加し、文化財の保護活用は順調に進展している。また、文化財保護ボランティア活動も着実に成長してきた。郷土博物館では、今後は区民の参画・協働による運営をさらに進め、区民の生涯学習支援のための施設として機能を果たしていくことが必要とされている。 文化財保護ボランティア登録者数 32人（19年度） 50人（21年度）</p>
<p>ふれあいと参加の地域社会をつくるために</p>	<p>地域団体の活動支援を通じた、良好なコミュニティ形成</p> <p>国内外の都市との交流による平和で豊かな区民生活の実現</p> <p>男女共同参画社会の構築</p>	<p>地域団体の活動支援 ・町会自治会加入促進支援、事業助成 ・地域区民センター協議会への補助金支出 地域集会施設等の整備 ・さざんかねっとの稼働（H15年度） ・高円寺北区民集会所の開設（H18年度） ・荻窪地域区民センターの改修（H18年度） ・高井戸地域区民センター改修工事の設計（H22年度）</p> <p>災害時相互援助協定等の締結 ・新潟県小千谷市との「災害時相互援助協定」締結（H16年度） ・福島県北塩原村との「まるごと保養地協定」締結（H16年度） ・福島県南相馬市との「災害時相互援助協定」締結（H17年度） 交流自治体との周年事業の実施 ・名寄市（交流自治体） ・ウイロビー市（友好都市） ・東吾妻町（友好自治体）</p> <p>「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画」の改正（H16・19・21年度） 啓発セミナー、情報誌の発行</p>	<p>1 町会・自治会への支援策は、活動の活性化や加入促進につながっているとの評価を得ているが、加入率は漸減傾向にあり、制度の改善や一層の工夫が求められている。また、地域区民センター協議会を核とした地域団体のネットワーク化は、まだ緒に就いたばかりであり、今後とも支援に努めていく必要がある。 町会・自治会加入率 60.0%（13年度） 51.9%（H22目標：60%）【未達成】 地域活動への参加率 51.4%（15年度） 54.6%（H22目標：53%）【達成】</p> <p>2 交流自治体数の増加に伴い交流機会も増え、「都市と農村の共生」をテーマに、特産品の区内販売の他、交流自治体農産物の学校給食利用や出前授業など様々な交流事業の展開により、参加者も増加傾向にある。今後は、交流協会の事業として、交流自治体との親善推進をさらに進める必要がある。 友好都市訪問者・来訪者数 864人（18年度） 961人（H22目標：1,000人）【未達成】</p> <p>3 「男女共同参画都市宣言」から13年が経過し、性別役割分担について平成21年には反対意見が過半数を占めるなど、男女共同参画に関する意識が高まり、女性の社会との関わり方も変化しており、こうした状況を踏まえた取組が求められている。 審議会における女性委員の登用率 30.0%（13年度） 35.7%（H22目標：40%）【未達成】</p>